



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2025/2026)

国際会長: Faith, Love, Action 「信念、愛、行動」 Together Stronger 「共に、より強く」
アジア太平洋地域会長: Act now with faith and love! 「信念と愛を持って行動しよう!」
西日本区理事: 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう
中部部長: ワイズは YMCA とユースのために
名古屋クラブ会長: 人のつながりはワイズの宝 新しいうねりを超えて

2025 ~ 2026 1月号 (No947)



名古屋ワイズ
ホームページ

名古屋ワイズ
FACEBOOK

1月 新年合同例会

とき: 2026年1月24日(土) 18:00 ~ (受付 17:30 ~)
ところ: ルブラ王山
名古屋市千種区覚王山通 8-18 052-762-3151
<https://www.kourituyasuragi.jp/nagoya/>
在名 3 クラブによる合同例会です(会費 /10,000 予定)

開会宣言 ワイズ連絡会にて調整中
ワイズソング //
ゲスト紹介 //
講演 「都市デザインの現場から」
講師: 鈴木清貴氏 愛知県立芸術大学卒
名駅「金時計」設計など各種都市デザインに従事
食前感謝 ワイズ連絡会にて調整中
会食、歓談
ハッピーバースデー、諸報告、各種アピール、
集合写真
閉会宣言 ワイズ連絡会にて調整中
申し込み方法は、後日メールでお知らせします

第 2 例 会

とき: 2026年1月19日(月) 19:00 ~ 20:30
ところ: Zoom
プログラム: 今期プログラムと例会の持ち方、その他

会長 加藤明宏 書記 川本龍資
副会長 都築正和 会計 平野実郎、谷川修
ブリテン 渡辺真悟、戸田真二、平野実郎

2月号 原稿担当者

巻頭言 深谷 聰 1月第一例会レポート 渡辺 真悟

クラブ出席		12月 個人出席						イベント出席		
在籍 (1名功劳・広義会員)	16名	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2
第1例会	12名	小 尾			谷 川	○	R	平 野		
メネット	4名	加 藤	○		都 築	○		深 谷	○	
ゲスト・ビジター	12名	川 口			戸 田	○	R	山 川	○	
第2例会	7名	川 本	○	R	中 井	○	R	渡 辺	○	R
メネット	0名	塩 田	○		中 村	○				
ゲスト・ビジター	0名	相 馬	○	R	西 村	M	R			
メーキャップ	1名									
出席率	87%	○出席 Rリモート出席 Mメーキャップ						ゲスト: 内河恵一、西尾結花、石橋まり子、吉田光代、加藤誠、荒川文門、杉山弘時、小林滋記、近藤豊、瀬川景子、ゆり先生、ナツ 特別メネット: 長井衣世 メネット: 加藤朱美、戸田寛恵 コメント: 相馬朋子 ミカン狩り: 平野実郎、谷川修、加藤明宏、川本龍資、都築正和、渡辺真悟 クリスマスキャロル: 小尾雅彦、加藤明宏、中村隆、平野実郎、平野コメント		

■ ■ ■ 第一例会レポート ■ ■ ■

とき: 2025年12月13日(土) 5:30p.m. ~ 8:15p.m.

ところ: 名古屋ガーデンパレス 5階及び2階

第一部の礼拝はホテルのチャペルで 荒川文門ハーベストクラブ会長の教え子で西尾結花さんと石橋まりこさんお二人のバイオリニストによる讃美歌など 厳かな雰囲気で心静かに神の賛美を迎えることができました。バイオリンの讃美歌大変良いですね。

第二部の祝会アトラクションでもお二人の演奏はとても清々しくお上手で 讃美歌・クリスマスソング・ワイズソング・YMCAの歌等自然に口ずさむ事が出来、食事も大変美味しく過ごすことが出来ました。

小生に取ってもう一つ思い出深い出来事は 故吉田氏(通



称まんじゅう)の メネットとの何十年ぶりかの再会でした。一年先輩の「まんじゅう」とは 旧少年部メンバー、リーダー、大学、南山ワイズを通じて常に一緒に行動



し 大学時代は「学Y」を作ることも考えていた仲でした。天に召されてしまいましたが南山のご自宅・弥富ヶ丘のマンションでの語らいを懐かしく思い出され 私にとって良いクリスマスプレゼントになりました。

クリスマス月間の煌びやかなイルミネーションの栄は、田舎暮らしの小生にとっては眩く清々しい思いで帰路に着きました。今回の例会を企画してくれた担当者に敬意を表すると共に

次年度がメンバーにとって素晴らしい年であることを祈念しレポートとします。メリークリスマス！ (都築正和)



■ ■ ■ 第2例会レポート ■ ■ ■

とき: 2025年12月15日(月) 19:00 ~ 20:00

ところ: オンラインにて

○1月以降の例会 内容

1月例会 1月24日(土) 18:00 ~ (予定)

※新年合同例会(名古屋クラブ1月第1例会と位置付ける。)

場所: ルプラ王山を予約済

内容: アトラクションは、卓話になる見込み。

※詳細については後日配信予定の要項による(担当: 名古屋グランパスクラブ)

2月例会 2月10日(火) 19:00 ~

※TOF例会 卓話者 国際飢餓対策機構 佐味健志氏

担当: 川本(他ワイズ・Y職員への呼びかけ案内)

TOF例会案内作成予定

3月例会 3月10日(火) 19:00 ~

卓話者: 三枝 隆氏(名古屋YMCAスタッフ:スズカト担当)

演題: 「導かれて・・・スズカトにて」

担当: 中井

2026年4月以降(候補)

- 牧野和博さん 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事
- DVD鑑賞 「希望の灯を灯す」故 中村 哲さんの記録(西村ワイズ提案)

○CS事業(みかん狩り)、クリスマス例会の評価・反省

ブリテン1月号に掲載する

○その他

- 次期中部部会について 2026年10月31日(土) 於スズカトを予定している。
- ドバイ国際大会(会長・メール委員宛に案内が来ています) 次月例会にてアナウンスする

ハッピーベースティ

メン	西村 清	平野 実郎
メネット	中村 正子	深谷 俊子

■■■ 名古屋 YMCA チャリティーゴルフ報告 ■■■

今年も名古屋 YMCA のチャリティーゴルフ会に参加しました。

11月13日（木）鈴鹿カントリークラブを会場に総勢83名の大コンペとなりました。薄曇りの天候に恵まれ風も少なく、言い訳できないコンディションでのプレーでしたが、スコアはいつも通り「イマイチ！」しかしながらハンデに恵まれ ますますの結果を残すことが出来ました。自分の成績はさておき、参加者全員が無事完走、盛況の内に終了でき、チャリティーも名古屋 YMCA に贈呈することが出来ました。学

童キャンプ・日本語学院の留学生・東日本大震災の支援のため有効に活用することを願います。

遠くは仙台から、大阪・京都・滋賀からも名古屋 Y 応援団が駆けつけてくださり、全国に仲間がいる！毎年、ワイズの友情を実感できるプログラムは幸いです。「名古屋青年」に同封されたチラシを見つけ、始めてご参加くださった維持会員の方と久しぶりの再会が出来たことも感謝でした。出会いを大切に、今後につなげていきたいと思います。

（川本龍資）

■■■ 地域奉仕（C S）事業：ミカン狩り招待プログラム報告 ■■■

今年は、2年ぶりに養護施設の子ども達を招待してのミカン狩りを11月29日（土）に実施できました。常滑のミカン果樹園の地主さんのご協力で 2本の木に鈴なりとなったミカンすべてを食べて取り切るプログラムです。中央有鄰学院の4歳から17歳の子ども 15名と職員5名、聖園天使園が子ども 4名と職員 1名が招待に応じて下さいました。取っては食べ、段ボール箱数箱にいっぱいに持ち帰りです。ミカン狩り終了後は、まだ、昼食の用意ができていない時間を使って 川本ワイズの主導でクイズラリー、ゲームの達人加藤会長のリードで手遊びゲームを楽しみ、お腹も空いたところで、さあ、昼食です。今年のメニューは、豚汁にカルビ丼です。根菜がまだ十分に柔らかくなっているなくて大丈夫かな！？の心配をよそに、お代わり一杯で、手づくりの不手際をカバー



してくれた子ども達でした。快晴で穏やかな気候のもと、屋外での食事の良さは格別です。

子どもをを迎える我がワイズは、加藤会長、川本ワイズの他に渡辺、都築ワイズと私、谷川の5人（深谷ワイズは急きょ仕事が入り欠席）でしたが、チームワークもバッチリで招待の子ども、職員も大満足で帰っていました。そうそう、都築ワイズは娘さんと4歳のお孫さんと参加、みかんをいっぱい美味しいように食べていたのが印象的でした。

地域奉仕という事で思い出したのが、故鈴木ワイズ（元総主事）の社会館保育園でのご挨拶です。「保育に預からせて頂く、子育ての応援をさせて頂く」と述べられていました。その謙虚さこそが、キリストの教えであり、YMCAの精神と感じ入ったことでした。これからも、その姿勢で地域奉仕をすすめていこうとの思いを強くしました。 （谷川 修）

会計より 会費納入 のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入してくださるようにお願いします。（3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい） ゆうちょ
銀行 記号12120 番号82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」
(ヨハネによる福音書1：1～3)

2026年、明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり、と言われますように、正月には一年のすばらしい目標を定め、希望に満ちた計画を立て、元気に新しい歩みを始められたでしょうか。

私は昨年11月末に骨粗しき症から背骨の骨折が起こったようで、痛め止めの薬をもらっていますが、体を動かすと一日に何度も痛みが走ります。特に朝起きる時が大変で、少しずつ、少しずつ体を動かし、痛みを我慢し、20～30分かけて起き上がります。人間が四足歩行から二足歩行へと進歩したことは大変なことだったと、今さらのように感心しています。

人間にはこれに劣らず、大きな進歩が「ことば」の創造です。言葉のない人間の世界はどんな世界か、想像も出来ない気がします。そして言葉の意味を考える時、大きな広がりをもつことになります。今月の聖句のように、ヨハネは「初めに言葉があった」と述べます。この言葉はλόγος（ロゴス）というギリシャ語が使われています。し

かも日本語の聖書では「言葉」ではなく、「言」と表現されています。ギリシャ語ではこのλόγοςは「理性」という意味も持っているからです。しかしヨハネはあえて、このλόγοςに神の子、イエスを意味する言葉として用いたのです。バークレーという神学者は、「イエスは、神の創造的な生命と光を与える言葉（旧約聖書・創世記1章参照）に他ならず、またイエスは、世界を創造した神の力であり、人間の肉体の形をとて地上に来られた、世界を保持する神の理性である」とヨハネの偉大な思想を紹介しています。

何故なら、ヨハネの課題はキリスト教をユダヤ人の世界に伝えることではなく、ギリシャ世界に伝えることであったのです。確かにキリスト教はユダヤ教の内部で、その幼年期を過ごしたとしても、まもなくそれはより広い世界へと広がり、ローマ世界に達した紀元60年頃には、ユダヤ人一名に対して、ギリシャ人一人のキリスト者が教会内にいたと言われています。

「ことば」を深い意味でとらえたいものです。

YMCA ニュース

スキーキャンプ

年末から3月末にかけて、スキーキャンプのシーズンを迎えました。12/26～29は白馬、12/26～28は梅池、1/10～12は白馬、1/17は木曽福島、1/24～25はやぶはら高原、2/7～8および2/14～15は白樺高原、3/26～29は志賀高原にて実施されます。

今年は厳しい寒さが続いており、積雪については大きな心配はなさそうです。年末の白馬と梅池のキャンプはすでにほぼ定員に達しており、リーダー・スタッフも本番に向けて準備に励んでいます。一方で毎年この時期になると思われるものが、地球温暖化の影響です。「年末や3月末のスキーキャンプは、この先いつまで続けることができるの

だろうか」と考えさせられます。脱炭素エネルギーへの転換や温室効果ガス削減など、さまざまな取り組みが進められていますが、まだ十分とは言えない状況です。世界全体で排出される二酸化炭素は、年間約338億トンにのぼり、日本はその約2.9%にあたる約9.8億トンを排出し、世界第5位となっています。「四季から二季になりつつある」と言われる現象も、もはや体感だけの話ではなくなっています。安全が守られ、楽しいスキーキャンプが実施されるることはもちろんですが、自然条件に大きく左右されるキャンプだからこそ、地球温暖化について考える機会ともなるキャンプであってほしいと願っています。 (中井信幸)